



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 週刊
 2011年2月18日号 No.181

'みなさんをいつもまんやかに'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

今年の第一回区議会本会議で日本共産党が質問

**わずか半年の間に貯めた、75億円の税金を「しるる」「けずる」
 で使わず、基金へ「ためこむ」あり方が問われている！**

**なんて冷たい
 区長答弁**

9日から始まった、今年第一回目の区議会。本会議初日の区長の施政方針を聞いて、(今の政治情勢のもとで子育て、福祉、営業でほんとうに困っている人たちの気持ちをおわかっていないのか) 淡々としゃべる姿を目の前にして、そんな思いを強くしました。

施政方針では一切触れなかった特養ホームについては、14日の島元区議団長の質問に答え、「来年度改定する地域福祉計画において計画化を図る」のみ。8百人を超える入所待ちがいるのに、待てません。すでに60億円以上の税金投入と春日・後楽園駅前再開発にはそれ以上の投入が

見込まれる都市再開発問題では、「茗荷谷再開発で販売されている部屋の最高額は3LDKで1億3千万円。いったい区民の誰が住めるのか？」の質問に、「本事業の約190戸の住宅は、ほぼ完売... 本区の定住促進に寄与するもの」と平然と答えました。さらに国保料を払えず、医療窓口で全額負担する資格証の発行をやめることを求めたのに対し、「法

に基づき適正に交付してまいります」です。本会議の傍聴者からは、「なんて冷たいの」との声が。



まんだち日誌

11日 いつものように金曜日は「赤旗」の日刊紙配達。空模様は心配でしたが大丈夫。しかし日中は久しぶりの雪、「赤旗 日曜版」の見本紙を読んでもらいたいお宅に配付しました。購読していただけますよう、お願いします。

13日 チラシ、署名用紙を配りながらハンドマイク宣伝。今日は暖かくな

り人通りも多いです。(誰だろう?) という目で見られますが、目線は温かい感じ。3時からはグルメリテイー前で訴えました。

15日 朝から清掃リサイクル特別委員会。有色トレイ、プラスチックボトル、ペットボトルキャップなどが、拠点、店頭で来年度に資源回収されます。これも、要望していた成果です。

茗荷谷アトラスタワー(右)と、特養老人ホーム大塚みどりの郷



**公園の喫煙スペース
 本年度中に、見直しへ**

区議会本会議での区長の冷たい答弁が続くなか、オッ!と耳に残ったのは、公園の喫煙スペースの見直しです。

「(禁煙になっていない)公園についても、出入り口や遊具周辺の灰皿を撤去」、また後楽園駅前の礪川公園の2か所喫煙場所は、「見直しを行い、本年度中に対応する予定」。

この間、昨秋の決算委員会でも取り上げ、今年初めの緊急要望でも場所の移動をお願いしていただけに、いい結果になったと思います。

